令 和 元 年 度

事業報告書

社会福祉法人 大口町社会福祉協議会

１．社協組織の充実と会員の拡大

高齢になっても障がいがあってもすべての人が、いままで大切にしてきた家族やつながり、地域との関係の中で暮らし続けていくことができるような地域社会を作っていく「地域福祉」の推進を目的として、社協組織を運営し、事業推進における自主財源確保に努めた。

（１）理事会、評議員会を開催し情報の共有化を図るとともに、地域福祉についての理解を深め事業推進に努めた。

ア．理事会の開催

第１回	令和元年５月３０日
議案第１号 議案第２号 議案第３号 議案第４号 議案第５号	平成３０年度社会福祉法人大口町社会福祉協議会事業報告について 平成３０年度社会福祉法人大口町社会福祉協議会一般会計決算について 社会福祉法人大口町社会福祉協議会理事、監事及び評議員選任規程の全部改正について 社会福祉法人大口町社会福祉協議会評議員選任候補者の推薦について 令和元年度第１回社会福祉法人大口町社会福祉協議会評議員会の日時及び場所等について
第２回	令和元年６月１８日
議案第６号 議案第７号 議案第８号	社会福祉法人大口町社会福祉協議会会長の選定について 社会福祉法人大口町社会福祉協議会副会長の選定について 社会福祉法人大口町社会福祉協議会常務理事の選定について
第３回	令和元年１０月２４日
議案第９号 議案第10号 報告第１号	大口社協居宅介護支援事業所運営規程の一部改正について 「令和元年度大口町表彰式」に係る被表彰者選考について 会長・常務理事の職務執行状況報告について
第４回	令和２年３月１６日
議案第11号 議案第12号 議案第13号 議案第14号 議案第15号 報告第２号	社会福祉法人大口町社会福祉協議会経理規程の一部改正について 令和２年度社会福祉法人大口町社会福祉協議会事業計画（案）について 令和２年度社会福祉法人大口町社会福祉協議会収入支出予算（案）について 社会福祉法人大口町社会福祉協議会評議員選任候補者の推薦について 令和元年度第２回社会福祉法人大口町社会福祉協議会評議員会の日時及び場所並びに議題・議案について 会長・常務理事の職務執行状況報告について

イ．評議員会の開催

第１回	令和元年６月１８日
議案第１号 議案第２号 議案第３号	平成３０年度社会福祉法人大口町社会福祉協議会事業報告について 平成３０年度社会福祉法人大口町社会福祉協議会一般会計決算について 社会福祉法人大口町社会福祉協議会理事及び監事の任期満了に伴う選任について
第２回	令和２年３月２７日
議案第４号 議案第５号 報告第１号	令和２年度社会福祉法人大口町社会福祉協議会事業計画（案）について 令和２年度社会福祉法人大口町社会福祉協議会収入支出予算（案）について 会長・常務理事の職務執行状況報告書について （※）新型コロナウイルス感染症予防のため、書面決議とした。

ウ．研修会

「令和元年度大口町社会福祉協議会合同研修会」
対象　社会福祉協議会評議員・理事・監事、民生委員・児童委員等
（※）新型コロナウイルス感染症予防のため、開催を中止した。

（２）自主財源確保に努め、相互扶助推進の高揚を図り、会員募集に努めた。
＊会員募集期間／７月～８月
＊会費金額
一般会員　５００円・賛助会員　１，０００円・法人会員　３，０００円

ア．会員募集加入状況

＊上段は令和元年度実績・下段は平成 30 年度実績

区　分	加　入　数	金　　額	増　減　額	加入率（※）
一般・賛助	4,787 件	2,462,500 円	▲18,150 円	53%
	4,840 件	2,480,650 円		55%
法　人	104 件	654,000 円	74,000 円	
	97 件	580,000 円		
合　　計		3,116,500 円	55,850 円	
		3,060,650 円		

（※）加入率：各年度６月１日時点の大口町行政区別集計世帯数から寮世帯を除いた世帯数に対する会員加入数から算出

２．広報・啓発活動

広報やホームページなどさまざまな媒体を通して、社協情報を発信した。

（１）広報「社協だより」を年４回発行し情報提供の充実を図るとともに、「広報おおぐち」においても事業の啓発や案内を掲載し情報発信をした。
＊発行月　４月・７月・１０月・１月　　＊発行部数　９，０００部

（２）公式ホームページを更新し、見やすい社協をこころがけ、事業を公表、事業の利用及び参加・協力を働きかけた。

（３）視覚障がい者への音訳サークルによるカセットテープ・ＣＤを利用した「声の広報」サービス、点訳サークルによる点訳サービス及びバリアフリー化支援ソフトを使用したホームページから福祉情報を発信した。

（４）大口町ふれあいまつりにおいて「ふくしわくわくランド」を開催し、ボランティア団体とともに福祉のＰＲと啓発に努めた。
①ボランティア参加数　　１１団体８２名
②スタンプラリー体験者数　　５１２名

ア．ふくしわくわくランド

開催日	場所	参加団体	実施内容
１１月２日	中央公民館駐車場	①うさぎとかめ	装具体験、高齢者体験
		②大口町手話サークル	手話体験、ろう者と交流
		③防災ボランティア Ｄ・サポート丹羽	防災クイズ
		④災害救援ボランティア	炊出し実演、災害用グッズ作り、被災者支援紹介
		⑤ボランティアなでしこ	手作り作品販売
		⑥大口絆つなぐネット	災害時炊き出し訓練、被災地名産品販売
		⑦おもちゃ病院おおぐち	おもちゃ修理、回収
		⑧トヨタ紡織㈱	車いす掃除、古本回収
		⑨大口町共同募金委員会	赤い羽根共同募金、ポスター・書道展示
		⑩大口町社会福祉協議会	スタンプラリー受付 景品受渡し
		⑪大口社協介護事業所	プチサロン 介護事業所パネル展示
１１月３日	おもちゃ図書館	⑫大口おもちゃ図書館 さくら	おもちゃ遊び

３．ボランティア活動の強化と拡大

ボランティアの拡大を図るとともに、行政、ＮＰＯ、市民活動団体等他の機関との連携を図れるようコーディネートした。

（１）町内児童センターにおいて、ボランティアサークルが「夏休みボランティア出前講座」を行い、児童クラブ・児童センターを利用する児童や地域住民を対象に、活動の紹介や福祉教育の推進に努めた。

ア．夏休みボランティア出前講座

開催日	サークル名（人数）	場所	内容	参加数
８月２１日	災害救援ボランティア（１０名）	南児童センター	ロープの結び方、新聞紙スリッパ、三角巾の応急処置を覚えよう	７３名
８月２２日	手話サークルコスモス（１１名）	北児童センター	ジェスチャーゲーム、手話で挨拶、パズルゲーム	２０名
８月２６日	レクリエーションボランティアここね（７名）	西児童センター	太極拳、誕生日の歌、カルタ、牛乳パックや新聞紙を使った遊び	７０名

（２）養成講座や研修を開催し、ボランティアの育成やグループの補強及び支援を図った。

ア．災害ボランティアコーディネーター養成講座（全５回）

講師　愛知県防災安全局防災危機管理課　竹内　進悟氏
大口町災害救援ボランティア　川橋　朝次氏
大口町地域協働部町民安全課　稲垣　敬氏
愛知県社会福祉協議会　西尾　浩志氏
岐阜県関市社会福祉協議会　後藤　善行氏
大口町災害救援ボランティア（災害ボランティアセンター設置運営訓練）

成果　東日本大震災復興支援事業の災害ボランティア経験者を含め２１名が受講し、防災・災害の基礎知識や災害ボランティアセンターの具体的な事例を学び、運営マニュアルをもとに設置運営訓練を行った。
受講後、コーディネーターの名簿作成、地域の防災訓練やボランティアサークル活動、被災地復興支援ボランティアへの参加につながり、新たなボランティアの人材育成と既存のサークルの補強を行うことができた。

災害ボランティアコーディネーター養成講座

開催日	場所	内容	参加数
９月１４日	健康文化センター１階多目的室	・オリエンテーション ・地震による防災概論 ・水害と避難	１８名
９月２１日		・大口町の防災対策 ・災害ボランティアセンターの機能と役割 ・平成３０年７月豪雨災害　関市災害ボランティアセンター運営報告	１７名
９月２８日	名古屋市港防災センター	・見学研修（地震・煙避難体験等の防災体験ツアー）	１４名
１０月５日	健康文化センター１階多目的室	・災害ボランティアセンター設置・運営訓練	１３名
１０月１９日	大口北小学校体育館	・北地域避難・防災訓練の参加（避難所体験・非常食配布、災害ボランティアセンターの啓発等）	１２名

（３）ボランティアセンター運営委員会、ボランティア連絡協議会合同研修会を開催し、令和元年度研修テーマ「ボランティアの力をつけよう仲間を増やそう」について学び相互の交流を深めた。

ア．ボランティア合同研修会

開催日	場所	内容	参加数
７月１２日	愛知県社会福祉協議会 多目的会議室	・愛知県社会福祉協議会ボランティアセンター運営委員長 鈴木 盈宏氏の講演	３３名
	れきしる小牧	・見学、ボランティア交流	

（４）「社協だより」にボランティアコーナー「ボランティア情報局」を掲載し情報を発信した。

（５）ボランティア登録団体への活動育成費を助成した。

助成団体	助成金額
18 団体	258,244 円

（６）ボランティア連絡協議会定例会を開催し、情報の発信とボランティア相互の交流及び共通のテーマについての研修活動を支援した。

ア．令和元年度テーマ「ボランティアの力をつけよう（そして仲間を増やそう）」に関する研修活動

開催日	講師	内容
５月１０日 （第１回）	個性心理學研究所モナミス支局　江口 かおり氏	「個性心理學で自分と相手を知り、円滑なコミュニケーションを」
７月１２日 （第２回）	愛知県社会福祉協議会 ボランティアセンター 運営委員長　鈴木 盈宏氏	～これからの活動を考える ボランティアの力をつけよう 新たな出会い・感動・発見を！～
９月１３日 （第３回）	きし接骨院 院長　岸　良成氏	ボランティアの力をつけよう体力編 「歩き方で姿勢・ひざ痛・腰痛改善」
１１月８日 （第４回）	きし接骨院 院長　岸　良成氏	ボランティアの力をつけよう体力編 「肩・腰・ひざ筋力強化実技編」
１月１０日 （第５回）	スポーツボランティア スマイル　古田　征氏	ボランティアの力をつけよう体力編 「機能訓練と筋力トレーニング」

（※）新型コロナウイルス感染症予防のため、第６回は開催中止とした。

イ．ボランティア連絡協議会総会

議案　令和元年度事業報告、令和２年度事業計画、令和２年度役員選任

（※）新型コロナウイルス感染症予防のため、書面決議とした。

（７）ボランティア保険の加入及び事故時の保険金請求等の事務手続きを行った。

ア．ボランティア登録者状況（ボランティア活動保険加入者数）

＊上段は令和元年度実績・下段は平成 30 年度実績

種別	団体数	人　数	男　性	女　性
グループ	45	697 名	314 名	383 名
	52	858 名	319 名	539 名
個　　人		23 名	16 名	7 名
		8 名	3 名	5 名
合計		697 名	314 名	383 名
		866 名	322 名	544 名
増減人員		▲169 名	▲8 名	▲161 名

イ．ボランティア保険の対象事故件数　２件

（町内でのボランティア活動中の骨折、町外でのボランティア活動中の打撲）

（８）町内企業と連携を図り協働事業を行った。

ア．トヨタ紡織㈱

大口町ふれあいまつり　ふくしわくわくランドにおいて、車いす掃除や古本回収のボランティア活動を支援した。（再掲）

イ．㈱東海理化

大口町障がい者スポーツ大会において、社員送迎用バスの運行協力を得て、丹羽高等学校生徒の送迎や楽器運搬を行った。

（９）ボランティア派遣依頼の調整を行った。

ア．相談及び派遣件数

相談件数	派遣件数
１４件（※）	７件

（※）相談件数は、本会の派遣決定を要さない相談・連絡調整のみの件数を含む

イ．上記派遣件数のうち、学校からの依頼による派遣

協力団体　高齢者疑似体験　うさぎとかめ

開催日	場所	内容	参加数
１０月１８日	尾北看護専門学校	老年看護学概論の講義として、学生を対象に高齢者疑似体験の実践指導	４５名

（１０）西尾張ブロック１４市町村のボランティア・社協と共催して、西尾張ブロックボランティアフェスティバルを開催した。

ア．西尾張ブロックボランティアフェスティバル

実施日	場所	内容	参加数
１２月１日	犬山市エナジーサポートアリーナ	「みつけよう、今の私にできること」をテーマに、ブース出展による活動発表と相互交流を実施した。	８００名（会全体）

（１１）地域防災の一端（ボランティア対策部）を担う社協として、大規模災害時に備え関係団体等との情報共有と連携強化に努めた。（再掲）

（１２）ボランティアセンター運営委員会を開催した。

実施日	場所	内容	参加数
６月２７日	健康文化センター多目的室	新運営委員の紹介、委員長の選任、 平成３０年度ボランティア登録者状況 令和元年度ボランティアセンター団体登録状況の報告、ボランティア合同研修会 平成３０年度ボランティア関連事業報告	９名

４．児童福祉

次世代育成としての子育て支援や小中学校での福祉教室、青少年ボランティア福祉体験学習事業を実施することにより、命の大切さや「ともに生きる」力を育くみ、地域の一員としての自覚が芽生えるよう事業を推進した。

（１）町内小中学校と協働し福祉教室（福祉実践教室・総合学習）を実施した。

ア．参加人数・実施科目等

学校名	学年	教室数	参加人数	月日	実施科目
大口中学校	１年生	７教室	２４２名	５月２８日～ ５月３０日	知的障がい・ 発達障がい理解
南小学校	３年生	２教室	６５名	１１月２０日	手話教室
	４年生	１教室	２１名	６月２４日	点字教室
		１教室	２４名	６月２４日	視覚障がい者ガイドヘルプ
	５年生	１教室	６５名	７月１０日	車いす体験
	６年生	１教室	５６名	１１月２７日	盲導犬教室
北小学校	３年生	１教室	３６名	２月７日	車いす体験
		１教室	３５名	２月７日	手話教室
		１教室	３６名	２月７日	視覚障がい者ガイドヘルプ
		１教室	１０７名	１２月２日	盲導犬教室
西小学校	３年生	２教室	７９名	１０月１８日	手話教室
	４年生	２教室	７０名	１０月７日 １０月１０日	点字教室
		１教室	７０名	１０月２８日	盲導犬教室
	５年生	２教室	５２名	６月１１日 ６月１３日	高齢者疑似体験
		２教室	５０名	６月１１日 ６月１３日	視覚障がい者ガイドヘルプ
	６年生	１教室	７６名	６月２６日	車いす教室
		１教室	７６名	１１月２６日	防災教室
４小中学校合計		２８教室	延１，１６０名		

（２）子育て支援サークルに助成した。

（３）おもちゃ病院おおぐちの活動を支援した

（４）青少年等ボランティア福祉体験学習事業を実施した。

期間	場所（町内高齢者及び児童福祉施設等）	参加数
８月１６日 １９日 ２０日 ２２日 ２３日	①大口社協デイサービスセンター ②南・西児童センター ③南・北・西・中保育園 ④大口幼稚園、ラ・モーナ幼稚園	５０名 （大口中学校 ＪＶＣ）

（５）民生委員児童委員が行うドアノッキング事業に協力し、赤ちゃん訪問時にお祝い品をプレゼントした。

項目	５ケ月訪問	１歳訪問
配布数（品目）	２３２名（絵本）	２３４名（スプーンセット）

（６）子育てサロン「まむ・まむ」の活動支援を行った。

（※）「８．ふれあいサロン事業」に別掲

（７）親子や家族で参加できる家族福祉教室（施設見学バスツアー）を実施し、家族で福祉について考える機会を提供した。

見学施設数　　１４か所（うち施設内見学３か所、給食試食１か所）

参加数　　１５名（大人１４名、小学生１名）

開催日	種別	施設名称	見学方法
８月８日	高齢者	有料老人ホーム 太郎と花子	施設内見学・説明
	高齢者	ＮＰＯ法人わたぼうし	施設内見学・説明
	高齢者	Ｋライン・ケアレジデンス大口	施設内見学・説明 給食試食
	高齢者	特別養護老人ホーム 御桜乃里	外から見学･資料により施設紹介
	障がい者	ハートフル大口	
	児童	発達支援室　ふきの塔・そらま芽	
	高齢者	みつばのシルバーハウスおおぐち	
	児童	放課後等デイサービスぽけっと	
	高齢者	デイサービスゆい	
	高齢者	老人保健施設 さくら荘	
	高齢者	大口社協デイサービスセンター 大口町生きがい活動支援センター	
	高齢者	ゴールドエイジ大口	
	高齢者	じゃがいもグループホームしん・かむおん	
	高齢者	軽費老人ホーム一期一会荘	

５．高齢者福祉

高齢者にかかる地域課題について専門機関、福祉施設、行政、地域関係者との調整を図りながら解決に向けた取組みを展開し、さらに高齢者が住み慣れた地域で、安心して暮らすことのできる「地域づくり」の推進や要介護者に対する支援事業の拡大に努めた。

（１）民生委員児童委員と大口町水彩画クラブの協力で、８５歳以上の単身高齢者・高齢者世帯を訪問し、おせち料理配と絵手紙を届けた。

実施日　　令和元年１２月３０日

＊上段は令和元年度実績・下段は平成 30 年度実績

項目	単身高齢者世帯	高齢者世帯	合計
配布数	５２世帯	１２世帯	６４世帯
	５１世帯	１０世帯	６１世帯

（２）満８８歳の米寿の方を対象に、ご自宅を訪問し、敬老のお祝い品と絵手紙、メッセージカードを贈呈した。

実施期間　　平成３１年４月～令和２年３月

＊上段は令和元年度実績・下段は平成 30 年度実績

配布月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
配布数	5	5	3	5	6	4	11	5	3	11	12	7	７７件
	5	3	4	8	8	5	6	10	4	9	6	9	７７件

（３）９９歳以上の方を対象に、敬老のお祝い品を贈呈した。配布数　１２件

（４）「社協だより」に介護者向け情報「介護豆知識」を掲載し、情報を発信した。

（５）弁護士による相談日を設けた。

①高齢者・障がい者のための弁護士相談

開催日　**第４水曜日　１３：３０～１６：３０**

(※)「１２．相談事業」（１）に別掲

（６）認知症の当事者家族の支援や介護予防の取り組みとして、認知症カフェ「オレンジカフェ・大口」の運営を支援した。大口町地域包括支援センターと大口町歴史民俗資料館の協力を得て、介護相談や回想法を取り入れたレクリエーションを実施した。

開催日　毎月第３木曜日　１３：３０～１５：００

場　所　大口町生きがい活動支援センター

ア．オレンジカフェ・大口 開催実績

開催日	内容	参加数	内スタッフ数
４月１８日	昔なつかしい道具たち（学校）	２９名	５名
５月１６日	昔なつかしい道具たち（改元・皇室行事）	２６名	６名
６月２０日	昔なつかしい道具たち（田植え）	３０名	７名
７月１８日	昔なつかしい道具たち（洗濯）	３０名	７名
８月２２日	昔なつかしい道具たち（夏の風物詩）	２２名	５名
９月１９日	昔なつかしい道具たち（伊勢湾台風）	２７名	６名
１０月１７日	昔なつかしい道具たち（秋の旅行）	２８名	６名
１１月２１日	昔なつかしい道具たち（昔のあそび）	３０名	５名
１２月１９日	昔なつかしい道具たち(年越しの思い出)	２５名	７名
１月１６日	昔なつかしい道具たち（寒さ対策）	２８名	６名
２月２０日	昔なつかしい道具たち（節分）	３０名	６名
合計		延３０５名	６６名

（※）新型コロナウイルス感染症予防のため、３月は開催中止とした。

（７）介護者のつどいを開催し、介護者同士の交流の場やリフレッシュできる機会を提供した。

開催日	場所	内容	参加数
１１月１４日	生きがい活動支援センター	・アロマハンドマッサージ ・介護者同士の茶話会	１２名

（８）孤立しやすい高齢者等を含め、地域住民の交流の輪を広げる「地域ふれあい会食会」の開催を支援した。

ア．ふれあいサロンでの「地域ふれあい会食会」 開催状況

サロン名	件数	開催日
外坪区ほっこり	２件	１２月１１日、令和２年２月１２日
さつきケ丘区ふれあい	１件	令和２年２月１６日
さつきケ丘区元気会	３件	１０月１５日、１２月１７日、２月１８日
河北区陽だまり	４件	９月１１日（仲沖集会場）、 １０月９日、１１月１３日（河北学供）、 １２月１１日（二ツ屋学共）
上小口萩島地区茶々会	１件	令和２年２月２２日
大屋敷区にこにこ	１件	１２月１８日
上小口区散歩道	３件	１０月１５日、１２月１５日、２月１５日

６．障がい児者福祉

障がいがあってもいきいきと暮らしやすい地域にしていくことを目指し、専門家による相談事業の充実や外出支援、参加型事業の推進に努めた。

（１）大口町障がい者スポーツ大会運営委員会の企画運営で「第３５回大口町障がい者スポーツ大会」を開催し、障がいをお持ちの方とその家族が、スポーツをとおして仲間や地域住民、ボランティア、民生委員児童委員等と交流をはかり、社会参加の一助となる機会を提供することができた。

参 加 者　身体障害者福祉協会、心身障害児（者）親の会、その他一般参加

協力団体　丹羽高校吹奏楽部、仲沖太鼓クラブ、江南ロータリークラブ、㈱東海理化、民生委員・児童委員協議会、ボランティア連絡協議会

開催日	場所	内容	参加数
６月７日	中央公民館 集会室	ボランティア、民生委員児童委員の協力により、大会会場準備	６０名
６月８日		ナイスシュート、車いす競争 パン食い競争、デカパン競争 玉入れ ボッチャの障がい者スポーツデモンストレーション、丹羽高校バンド演奏、総踊り	２６０名

（２）身体障がい者日帰り事業を開催し、外出の機会を提供した。

対象者：身体障害者手帳１級・２級所持者（内部疾患除く）と介護者

大口町身体障害者福祉協会会員（令和元年度から対象者を拡充）

開催日	場所	内容	参加数
１０月２１日	奥の細道むすびの地記念館・Sekigahara 花伊吹・伊吹山	貸切リフト付きバス利用。奥の細道むすびの地記念館見学。 花伊吹で昼食、伊吹山散策。	１７名

（３）大口おもちゃ図書館「さくら」の活動を支援した。

（４）弁護士による相談日を設けた。

(※)「１２．相談事業」（１）に別掲

（５）大口町障害者等地域生活支援事業（移動支援事業）を受託した。

(※)「１５．在宅福祉サービス３事業所の経営」に別掲

（６）精神障がい者を対象とするふれあいサロン「フリースペース れんげそう」の運営を支援した。

（７）福祉関係団体等の障がい者スポーツの活動を支援した。

団体名	支援内容	件数
大口町心身障害児（者）親の会	スポーツ用具の貸出 障がい者スポーツ指導員派遣	１４件 １件

７．母子父子福祉

ひとり親家庭対象の事業を実施し、生活課題や問題点について検討、相談事業の充実や教育における貸付事業の周知を図りながら、自立支援できる体制づくりを推進した。

（１）ひとり親家庭日帰り旅行を開催し、親子のふれあいや親同士の交流の機会を提供した。

開催日	場所	内容	参加数
８月３日	ユニバーサル・スタジオ・ジャパン（大阪府）	貸切大型バスを利用。アトラクションの体験等	１７家族 ４４名

（２）母子家庭等に対する相談事業として、相談日を月１回設けた。

①県母子父子自立支援員による母子父子自立支援相談

開催日　**第１水曜日　１０：００～１５：３０**

(※)「１２．相談事業」（１）に別掲

（３）母子寡婦福祉会への活動支援及び会員拡大に努めた。

（４）小学校、中学校、高等学校等入学のひとり親家庭を対象にお祝いを贈った。

項目	お祝金	件数	合計件数
小学校	3,000 円	７件	２４件
中学校	3,000 円	８件	
高校等	5,000 円	９件	

（５）母子寡婦福祉資金等貸付制度を紹介し生活を支援した。

８．ふれあいサロン事業

ふれあいサロン立ち上げの支援や活動費に対する助成を行いながら、地域の見守り活動や地域の活性化につながるよう運営についての相談や支援を行った。

（１）サロン設立初年度における備品助成を行った。

対象サロン数	助成金額
１か所	20,000 円

（２）開催実績回数（上限 48 回）に応じ助成を行った。

対象サロン数	助成金額
16 か所	359,000 円

（３）サロン活動で必要な備品の貸出を行った。
（４）サロンのＰＲや広報等ちらしを作成し活動を支援した。
（５）地域サロンの運営関係者が一同に会し、情報交換できる「ふれあいサロン連絡会」を開催した。

ア．ふれあいサロン連絡会

開催日	場所	内容	参加数
令和２年 １月３０日	健康文化センター多目的室	社協の支援する地域ふれあいサロン１０カ所の運営代表者が参加し、初めて全サロンが集まって開催。座談会形式で、サロンでやってよかったことや運営の工夫、サロンでの「地域ふれあい会食会」の効果を教え合い、高齢者等の見守り機能を再確認する等、担い手が意欲を高め合う機会となった。	１７名

（６）地域ふれあいサロンが開催する「地域ふれあい会食会」を支援した。
（再掲）

（７）出前形式のサロンを開催し、地域サロンの立ち上げを考える機会を提供した。

サロン名	場所	期間、開催日時	件数
上小口区ふれあいサロン散歩道	上小口学供	令和元年６月～令和２年２月 偶数月１５日　9:30～11:30	５件

令和元年度ふれあいサロン開催状況一覧

	種別	サロン名	開催日	場所	開催回数 参加数
1	地域	外坪区 ほっこり	第 2・第 4 水曜日 9:00～12:00	外坪学共	21 回 延 992 名
2	地域	大屋敷新田地区 いっぷく茶屋	第 2 土曜日 9:30～11:30	新田集会場	10 回 延 377 名
3	地域	上小口萩島地区 茶々会	第 2 土曜日 13:30～16:00	萩島集会場	11 回 延 136 名
4	地域	さつきケ丘区 サロンさつき	毎週水曜日 10:00～16:00	さつきケ丘 防災センター	48 回 延 2,800 名
5	地域	さつきケ丘区 元気会	第 1 金曜日 第 3 火曜日 13:00～15:30	さつきケ丘 防災センター	20 回 延 257 名
6	地域	大屋敷区 にこにこ	第 1・第 3 水曜日 9:30～11:30	大屋敷学共	22 回 延 176 名
7	地域	河北区 陽だまり	第 2 水曜日 9:30～11:30	河北区学供、仲沖集会場、二ツ屋学共	11 回 延 549 名
8	地域	秋田替地地区 替地ふれあいサロン	第 2 日曜日ほか 9:00～12:00	替地集会場	21 回 延 81 名
9	地域	豊田区 どんぐりころころ	毎週金曜日 13:30～15:00	豊田学共	42 回 延 561 名
10	地域	上小口区 散歩道	偶数月 15 日 9:30～11:30	上小口学供	5 回 187 名
11	障がい	フリースペース れんげそう	第 2・第 4 木曜日 13:00～16:00	健康文化センター 4 階 和室	21 回 延 308 名
12	障がい	忘れな草の会	水曜日月 2～4 回 9:00～16:00	健康文化センター 2 階または 4 階	38 回 延 285 名
13	傾聴	傾聴サロン 笑桜会	第 3 火曜日 13:00～15:00	老人福祉センター 1 階 研修室	11 回 延 156 名
14	子育て	子育てサロン まむまむ	毎週火曜日 10:00～12:00	健康文化センター 2 階おもちゃ図書館	44 回 延 879 名
15	介護･認知症予防	オレンジカフェ・大口	第 3 木曜日 13:30～15:00	生きがい活動支援センター	11 回 延 303 名
16	介護予防	青空あかりサロン	第 3 水曜日 13:30～15:00	大口ケアセンターあかり 2 階	10 回 延 148 名
サロン数合計			16 か所	開催回数合計 参加数合計	346 回 延 8,195 名

９．福祉関係団体の育成・助成

町内福祉団体や広域福祉団体に対し助成金を交付し事業の推進を図った。

団　　体　　名	金　　額
身体障害者福祉協会	450,000 円
心身障害児（者）親の会	110,000 円
更生保護女性会	10,000 円
遺 族 会	380,000 円
母子寡婦福祉会	80,000 円
保護司会	10,000 円
大口しらゆり会	40,000 円

１０．共同募金

（※）令和元年度より、大口町共同募金委員会の事業報告として別掲

１１．貸付事業

安定した生活を図るために他の資金の借り入れが困難な所得の低い世帯や、障がい者・高齢者の方を含む世帯にご利用いただく貸付事業を行った。

さらに、民生委員のご協力により、貸付世帯に対する貸付後の訪問や相談支援を行いながら、償還指導を包括的に行った。

（１）生活福祉資金貸付制度

ア．相談件数　　24 件

項目	福祉資金		教育支援資金
	福祉費	緊急小口資金	
件数	1 件	21 件	2 件

イ．貸付状況

資金種類		件数	貸付金額(元金)(1)	貸付利子延滞利子(2)	累計償還額(3)	＊未償還額(滞納額を含む)(4)
福祉資金	福祉費	3 件	1,893,000 円	111,528 円	1,397,191 円	607,337 円
	緊急小口資金	7 件	570,000 円	488,112 円	89,403 円	968,709 円
離職者支援資金		1 件	2,400,000 円	2,370,062 円	57,140 円	4,712,922 円
総合支援資金		4 件	1,734,000 円	837,710 円	156,853 円	2,414,857 円
教育支援資金	教育支援費	4 件	2,415,000 円	384,354 円	1,105,160 円	1,694,194 円
	就学支度費	1 件	720,000 円	12,087 円	720,000 円	12,087 円
計		20 件	9,732,000 円	4,203,853 円	3,525,747 円	10,410,106 円

＊未償還額 (4)=(1)+(2)−(3)

（２）県くらし資金（愛知県社会福祉協議会　原資　200,000 円）

ア．貸付状況　　＊上段は令和元年度実績・下段は平成 30 年度実績

件数	累計貸付金額(1)	累計償還額(2)	＊未償還額(3)
7 件	213,000 円	20,000 円	193,000 円
7 件	213,000 円	20,000 円	193,000 円

＊未償還額 (3)=(1)−(2)

（３）町くらし資金（大口町社会福祉協議会　原資 2,000,000 円）

ア．貸付状況　　＊上段は令和元年度実績・下段は平成 30 年度実績

件数	累計貸付金額(1)	累計償還額(2)	＊未償還額(3)
31 件	1,116,000 円	391,000 円	725,000 円
32 件	1,052,000 円	363,000 円	689,000 円

＊未償還額 (3)=(1)−(2)

（４）緊急一時支援

生活困窮者の緊急一時的な食料不足に対し、民間団体（フードバンク）からの取り寄せや、企業から寄贈された食品の活用により、食料支援を行った。

ア．食料支援件数　　21 件

１２．相談事業

専門機関や専門知識を持つ相談員による相談窓口を開設し、日常生活の悩みごとや地域における問題解決のための相談を行った。

（１）心配ごと相談所

第１・第３水曜日　１０：００～１５：３０

県女性相談員による女性相談、県母子父子自立支援員による自立支援相談
（第３水曜日は県女性相談員による女性相談のみ）

第４水曜日　　１３：３０～１６：３０

高齢者・障がい者のための弁護士相談

ア．相談状況　　＊上段は令和元年度実績・下段は平成 30 年度実績

件数	相談者性別等
35 件	男性 8 名・女性 27 名
37 件	男性 5 名・女性 31 名・その他 法人 1

イ．相談内容

相談内容															合計
生計・年金	職業・生業	住宅	家族	結婚・離婚	健康・医療	精神	人権・法律	財産	児童福祉	教育・青少年	心身障がい	ひとり親家庭	高齢者福祉	苦情・その他	
9	3	2	12	14	3	3	8	6	1	1	1	1	1	3	68

（２）総合福祉相談窓口常設

病気や障がい、認知症、生活困窮等、さまざまな理由により生じた日常生活の困りごとに関して、幅広く相談に応じた。必要に応じて、福祉サービスの利用支援、日常的な金銭管理や書類等の預かり等を行った。

ア．相談状況

＊上段は令和元年度実績・下段は平成 30 年度実績

内容	件数
問合せ・相談のみ	4 件
	7 件

（総合福祉相談事業の契約に至った相談以外）

イ．サービス利用状況

総合福祉相談事業契約者数　９名（男性６名・女性３名）

福祉サービス利用援助、金銭管理、書類等預かりを含む相談援助の延べ支援件数

＊上段は令和元年度実績・下段は平成 30 年度実績

対象者	契約者数	延べ支援件数
認知症等高齢者	4 名	369 件
	1 名	169 件
知的障害者 精神障害者	5 名	658 件
	5 名	560 件
合計	9 名	1,027 件
	6 名	729 件

１３．日常生活自立支援事業（福祉サービス利用援助事業）

専門員による相談窓口を開設し、認知症高齢者、知的障害者、精神障害者等のうち判断能力が不十分な方が地域において自立した生活が送れるよう、利用者との契約に基づき、福祉サービスの利用援助等を行った。

（１）福祉サービス利用に関する相談・情報提供や手続きの支援
（２）日常的な金銭管理サービス
（３）書類や通帳等の預かりサービス

ア．相談状況　問合せ・相談のみ（初回相談受付含む）

＊上段は令和元年度実績・下段は平成 30 年度実績

対象者	件数
認知症高齢者等	3 件
	2 件
知的障害者	0 件
	5 件
精神障害者	0 件
	0 件
不明・その他	1 件
	1 件
合計	4 件
	8 件

イ．サービス利用状況

福祉サービス利用援助契約者数　７名（男性３名・女性４名）

福祉サービス利用援助、金銭管理、書類等預かりを含む相談援助の延べ支援件数

＊上段は令和元年度実績・下段は平成 30 年度実績

対象者	契約者数	延べ支援件数
認知症高齢者等	1 名	188 件
	0 名	0 件
知的障害者	5 名	1,030 件
	4 名	927 件
精神障害者	1 名	265 件
	1 名	382 件
合計	7 名	1,483 件
	5 名	1,309 件

ウ．生活支援員　２名（女性）

「イ．サービス利用状況」のうち、生活支援員による延べ支援件数　44 件

１４．貸出事業

町民、行政区、学校、企業などを対象に各種貸出サービスを行った。

目的：地域コミュニティ・日常生活用具・外出支援・福祉教育・団体活動支援

ア．貸出状況　＊上段は令和元年度実績・下段は平成 30 年度実績

種類	件数
車イス・松葉杖	92 件
	111 件
福祉車両・普通自動車	21 件
	27 件
綿菓子機・ポップコーン機	19 件
	18 件
福祉教材・サロン用備品等 （点字器・高齢者疑似体験セット・ビデオ等）	5 件
	7 件
障がい者スポーツ用具 （ドッジビー・ボッチャ・ディスゲッター等）	19 件
	11 件
合計	156 件
	174 件

１５．在宅福祉サービス３事業所の経営

介護保険法や障害者総合支援法における介護サービスのほか、大口町の委託事業者や独自の介護サービスを提供し、在宅生活を支えた。

（１）大口社協居宅介護支援事業所（介護、介護予防、介護予防・日常生活支援総合）
（２）大口社協訪問介護事業所（介護、介護予防・日常生活支援総合、障害者総合支援、独自）
（３）大口社協デイサービスセンター（介護、介護予防・日常生活支援総合、独自）

ア．３事業所の実績

＊上段は令和元年度実績・下段は平成 30 年度実績
＊利用者数（延べ人数）は、令和元年度 1 年間の延べ利用者数
令和 2 年 3 月末現在の実利用者数

①大口社協居宅介護支援事業所（介護、介護予防、介護予防・日常生活支援総合）

区　　分	日常生活支援総合	要支援 1～2	要介護 1～2	要介護 3～5	合　　計
利用者数（延べ人数）	49 名	123 名	574 名	216 名	962 名
	49 名	117 名	553 名	215 名	934 名
利用者数（実人数）	4 名	9 名	50 名	20 名	83 名
	4 名	9 名	52 名	16 名	81 名
収　　入	694,131 円		9,326,745 円		10,020,876 円
	687,313 円		9,132,406 円		9,819,719 円
増　　減	6,818 円		194,339 円		201,157 円

②大口社協訪問介護事業所
（介護、介護予防・日常生活支援総合、障害者総合支援、独自）

区　　分	居宅介護等（※１）		障害者総合支援	合　　計
	日常生活支援総合（現行の訪問介護相当）	要介護 1～5		
利用者数（延べ人数）	727 名	2,279 名	3,303 名	6,309 名
	920 名	3,214 名	2,928 名	7,062 名
利用者数（実人数）	10 名	17 名	33 名	60 名
	9 名	18 名	35 名	62 名
収　　入	10,018,948 円		14,796,570 円	24,815,518 円
	12,674,856 円		13,518,600 円	26,193,456 円
増　　減	▲2,655,908 円		1,277,970 円	▲1,377,938 円

③大口社協デイサービスセンター（介護、介護予防・日常生活支援総合、独自）

区　分	通所介護 要介護 1～5	介護予防通所型 サービス 要支援 1～2 事業対象者 （現行の通所介護相当）	介護予防通所型 サービスミニデイ 事業対象者 （通所型サービスＡ）	合　　計
利用者数 （延べ人数）	3,672 名	915 名	1,094 名	5,681 名
	3,764 名	1,077 名	687 名	5,528 名
利用者数 （実人数）	27 名	11 名	22 名	60 名
	24 名	16 名	25 名	65 名
収　入	30,249,737 円	10,671,523 円		40,921,260 円
	31,144,682 円	10,030,455 円		41,175,137 円
増　減	▲894,945 円	641,068 円		▲253,877 円

（４）毎月経営会議を開催し、経営強化に努めた。

（５）介護職員の研修会等への参加を促進し､スキルアップやサービスの質の向上に努めた。愛知県ホームヘルパー連絡協議会ブロック別研修会開催に努めた。

１６．防災・災害事業

防災・災害に関する啓発活動や、ボランティア団体等と協働し、災害救援や防災のノウハウを広めながら、町民の防災意識の高揚を図った。

（１）大口町防災啓発事業を受託した。

（２）地域の防災訓練において、各種訓練や講座等を実施した。

①人材育成事業

災害ボランティアコーディネーター養成講座を開催し、大規模災害時にボランティアの受入・派遣拠点となる災害ボランティアセンターの運営を担う人材の育成に努めた。（再掲）

②防災訓練事業

ボランティア団体とともに、地域で開催される各種防災訓練への参加、災害ボランティアセンター立ち上げ訓練等を実施した。災害時に自分の命を守る方法（自助）や、隣近所で協力して避難行動要支援者を支援する方法等（共助・近助）を住民やボランティア団体とともに考え訓練することで、地域防災力の向上に努めた。

防災訓練事業一覧

開催日	場所	内容
９月２日	健康文化センター多目的室	災害ボランティアセンター設置運営訓練 災害救援ボランティアと社協職員による訓練
１０月１９日	大口北小学校	北地域避難・防災訓練 災害救援ボランティア、ガイドボランティアあい♡あいを派遣し、炊き出しや視覚障がい者避難誘導体験のブースを出展。 災害ボランティアコーディネーター養成講座の受講者が、避難所体験や非常食配布等、全体訓練に参加。社協職員は、災害ボランティアセンターと災害用トイレの啓発ブースを出展した。
１１月２日	中央公民館駐車場	災害時炊き出し訓練 ボランティア団体とともに町ふれあいまつりふくしわくわくランドで炊き出しを実施（再掲）

③防災啓発講座等事業

社協職員が地域の会場等へ出向き、災害用トイレや災害ボランティアセンター等の啓発を住民向け講座として実施し、また、町職員向け防災訓練への協力や防災パネル展を実施し、防災意識の向上を図った。

ア．災害用トイレの啓発

開催日	場所	内容	参加数
５月２６日	下小口学供	ゴミゼロ運動後の防災啓発講座	約６０名
６月２７日	中小口コミュニティセンター	中小口コミュニティ運営委員会 防災啓発講座	約２０名
１０月１９日	大口北小学校	北地域避難・防災訓練（再掲）	約５０名
１１月２６日	大口西小学校	福祉実践教室（防災教室）	小学６年生 ７６名

イ．災害ボランティア及び災害ボランティアセンターの啓発

開催日・期間	場所	内容	参加数
１１月２４日	大屋敷学共	大屋敷区　防災対策講話 被災地支援ボランティアバスによる 災害ボランティア活動の報告	約３０名
令和２年３月	健康文化センター２階	忘れない３．１１　防災パネル展	（来庁一般住民向け）

ウ．町職員向け防災訓練

開催日	場所	内容	参加数
１０月１９日	役場本庁舎	名古屋気象台講師によるクロスロードの提案、洗濯竿を使った応急担架や車いすによる避難介助方法を紹介	約３０名

（３）岩手県遠野市社協との災害時相互応援協定継続事業

災害被災地へボランティアや職員を派遣し、復興支援活動を実施した。また、岩手県遠野市内での体験学習事業支援、遠野市社協での情報交換を行った。

ア．令和元年台風１９号被災地支援ボランティアバス運行による被災地支援活動

開催日	場所	内容	参加数
１１月１８日	長野県北部ボランティアセンター 長野市長沼地区穂保	社協単独でボランティアを募り、被災地支援ボランティアバスを運行。豪雨災害の復興支援ボランティア活動を行いながら、社協災害ボランティアセンターの運営を学んだ。	２９名

イ．児童・生徒の県外自然体験学習事業

開催日	場所	内容	参加数
８月３日～ ８月５日	岩手県遠野市及び近隣市町	遠野市社協とともに、町内小中学生が遠野市内で里山を体験し、震災を学ぶ自然体験学習事業を支援した。	９名

ウ．岩手県遠野市社協との情報交換

遠野市社協が行った令和元年豪雨災害の被災地支援、災害ボランティアセンターの運営等に関する情報交換を行った。

１７．生活支援体制整備事業

大口町生活支援体制整備事業を受託し、生活支援コーディネーターとして、住民・関係団体・行政等の関係者の連携・協働を推進しつつ、地域に必要とされる通いの場や生活支援サービスの創出に向けた取り組みを行った。

社会福祉協議会ならではの視点を活かし、高齢者だけでなく障がい者や子育て世帯、生活困窮者世帯等の住民を含め、誰もが孤立せず、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、まるごと包み込みささえあう地域づくり、「地域共生社会」の実現を住民とともに考え進めた。

＊生活支援コーディネーター業務の活動実績

本事業は、社協の地域福祉事業と共通点が多く、本事業の業務と社協事業の業務を整理・融合しながら実施した。

・ふれあいサロンの創出と担い手支援、くらしのおたすけ講座かんたん料理教室

・北地域自治組織福祉部会、北地域開催事業、各種研修・会議・打合せ等

ア．年間活動件数

担当日常生活圏域	件数
第２層協議体（北地域）	１５８件

（１）地域で行われる話し合いの場に出向き、ふれあいサロンや生活支援サービス等の仕組みづくりを含めた見守り支え合う地域づくりを住民とともに考えた。

①ふれあいサロンの創出と担い手支援

ア．上小口ふれあいサロン散歩道の立ち上げ支援　　１２件

実施期間・実施日	内容	件数
平成３１年３月～	サロンボランティア募集チラシ作成、上小口区の町広報に折り込み	１件
平成３１年４月～	運営スタッフとの打合せ	５件
令和元年５月１５日	上小口寿楽会でサロン紹介（上小口学供）	１件
令和元年６月～２月	偶数月１５日「出前サロン」（上小口学供）	５件

イ．余野区ふれあいサロン立ち上げに向けた支援　　９件

実施期間・実施日	内容	件数
平成３１年４月～	余野千歳会の有志や地域住民からの相談対応、打合せ等	６件
平成３１年４月～	町内サロン見学同行	２件
令和元年１２月１０日	余野区ふれあいサロン勉強会（余野学供）	１件

③地域ふれあい会食会の支援　　１５件（再掲）

④地域ふれあいサロン連絡会による担い手支援　　１件（再掲）

⑤テーマ型サロンの担い手支援　１１件（再掲）

・フリースペースれんげそう　　月１回担い手の連絡会　１０件

・青空あかりサロン　令和元年９月１８日　（軽食付き）　１件

・子育てサロンまむ＊まむ、オレンジカフェ大口（社協主催）、傾聴サロン笑桜会、忘れな草の会は、随時担い手に必要なサポートを行った。

（２）町の社会資源を把握するため、既存の地域拠点等の調査を行い、地域資源マップの補強となる情報を社協だよりに掲載した。

ア．住民に対する地域包括ケアシステムの啓発

広報紙『社協だより』での周知・ＰＲ　　４件

・「地域包括ケアシステムってこういうこと」シリーズ⑤～⑦

発行号	内容
２０１９年　４月号（第１０６号）	ふれあいサロンマップ
２０１９年　７月号（第１０７号）	小さな地域・小さな集いの強い絆
２０１９年１０月号（第１０８号）	上小口区サロン、おたすけ隊サービス
２０２０年　４月号（第１１０号）	地域ふれあい会食会、食を支える

（３）地域住民の誰もが参加できるふれあいサロン活動の拡大を推進した。（再掲）

（４）住民参加型の生活支援「おたすけ隊サービス」について、人材育成研修や運営の体制整備等を行った。

ア．おたすけ隊サービス協力会員登録状況（令和２年３月末現在）

会員種別	人数	男女別	平均年齢
協力会員	２０名	男性　８名 女性　１２名	６７．８５歳 （利用会員登録の協力会員を除く）

・地域のたすけあいに理解のあるボランティアや地域住民のうち、平日の日中活動できる高齢者が登録。協力会員の入れ替わりあり。新規会員には人材育成となる説明を実施。

（５）地域における高齢者の日常生活支援に係る支援ニーズと、「おたすけ隊」の活動のマッチング・コーディネート等を行った。

①おたすけ隊サービス事業概要

誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、高齢者や障がい者等で福祉的な配慮のもと日常生活上の支援を要する者に対し、住民どうしの助け合いによる簡易な生活支援であるおたすけ隊サービスを提供するとともに、地域の見守りと助け合いを推進することを目的とする。

②おたすけ隊サービス実施状況

ア．協力会員等の年間活動件数（平成３１年４月１日～令和２年３月３１日）

延べ８６件（再掲）

（※うち、新型コロナウイルス感染拡大による協力会員の活動自粛のため、
コーディネーターの職員のみで３件対応）

イ．おたすけ隊コーディネーターの活動件数

初回アセスメント　　１８件
協力会員の同行支援　　１７件

ウ．おたすけ隊サービス会員登録状況　　（令和２年３月３１日現在）

会員種別	人数	男女別	平均年齢
利用会員	３９名	男性　１３名 女性　２６名	８１歳 （６５歳以下の 障がい者を除く）
協力会員	２０名	男性　　８名 女性　１２名	６７．８５歳 （利用会員登録の 協力会員を除く）

エ．生活支援ニーズとおたすけ隊サービスの活動のマッチング

（平成３１年４月１日～令和２年３月３１日）

生活支援ニーズ
・単身高齢者・高齢者世帯、障がい者世帯、老障世帯、ケアマネジャー等からの相談。 ・持病・障がい・腰痛等により、高い所・低い所の掃除、電球交換、家具の移動、まとめてごみ出し等ができないので、手伝って欲しい。 ・公的サービスの時間数が不足して困っているため、手伝って欲しい。 ・ひとり暮らしで健康に気をつけるため、料理を教えに来て欲しい。 ・今はまだサービスは不要だが、ひとり暮らしで不安なため、何かあったときに備えて登録しておきたい。等
実施サービス　　延べ８６件（再掲）
・居室、台所、換気扇、風呂、洗面台、床、窓ガラス、網戸等の簡単な掃除 ・買い物（食料品、日用品、衣類、寝具等の購入・買替） ・布団のシーツ交換、洗濯 ・電球交換、電灯取替 ・家具の移動 ・物置の整理・片付け ・風呂のお湯張り（ガス釜操作をできない知的障がい者の一時支援） ・室内の電気配線の整理・片付け ・粗大ゴミの運び出し ・リサイクルセンターへの資源ごみ・不燃ごみ出し ・庭木の簡単な剪定 ・日用品の使い方の相談、話し相手　等

オ．おたすけ隊コーディネーターの具体的な業務

１）社協窓口または電話・ＦＡＸで、利用相談を受付。
２）利用相談者の自宅を訪問し、アセスメント。利用会員登録を受付。
３）利用会員のニーズと協力会員のマッチングし、訪問をコーディネート。
４）アセスメントシート・「サービス依頼書」等、必要書類の作成。
５）利用会員の自宅を訪問し、協力会員との顔合わせ、サービス実施後のチケット受渡し、記録まで立ち会い。
６）継続利用の場合は、利用状況のモニタリング。

（６）関係者間の情報共有、生活支援サービス提供主体間の連携の体制づくり等

①生活支援おたすけ隊サービスに関する連携、情報共有

ア．役場、民生委員児童委員、コミュニティー・ワークセンター　各１件

イ．地域包括支援センター　４件

高齢者世帯の夫妻、高齢単身世帯の事例について、情報共有し必要なサービス等につないだ。

（７）生活支援サービス提供主体等が参画する定期的な情報共有・連携強化の場との連携・協働に関する業務

ア．第２層協議体生活支援コーディネーターとして出席した会議等

会議・行事等名称	出席件数
三地域代表者会	１２件
北地域自治組織福祉部会（打合せ含む）	９件
第４回北地域避難・防災訓練（打合せ含む）	２件
北地域自治組織　第３回福祉講座「ストレス社会を生き抜くために」	１件
北地域自治組織　第５回福祉の集い「認知症を知り、徘徊者捜索対応」	１件
南地域自治組織　認知症勉強会	１件
南地域自治組織　認知症高齢者徘徊捜索訓練	１件
中地域自治組織　認知症勉強会	１件
中地域自治組織　認知症高齢者徘徊捜索訓練	１件
大口町地域包括ケアシステム構築に向けた連携会議	３件

イ．その他、生活支援体制整備事業に関連する研修会等への出席

会議・行事等名称	出席回数
令和元年度生活支援コーディネーターフォローアップ研修	１件
第１２回大口町まちづくり協働フォーラム	１件
地域懇談会（北小学校区）	１件

（８）生活課題の解決につながる講座・研修を行った。

①くらしのおたすけ講座　かんたん料理教室

単身高齢者で持病を抱える方のニーズを受け、訪問形式のおたすけ隊サービスと並行し、講座形式の料理教室を企画。

大口町健康生きがい課の管理栄養士を講師に招き、おたすけ隊サービス協力会員が講師補助としてサポートしながら、いつまでも元気にくらすために必要な食事や栄養について学び、季節の食材を使ったかんたんな家庭料理の調理実習、会食を行った。

また、アンケートや受講者どうしのグループワークで交流をはかり、生活支援ニーズの把握と課題解決策となる栄養指導等も行った。

ア．かんたん料理教室

開催日	場所	内容	参加数
５月２４日	健康文化センター 栄養実習室	春編　炒め物、サラダ、味噌汁	１１名
８月２９日		夏編　夏の炊込ご飯、炒め煮、マリネ	１４名
１１月２９日		秋編　丼物、和え物、サラダ	１２名
２月２１日		冬編　麺類、煮物	１２名

・生活支援コーディネーター活動件数（打合せ等含む）　　合計１２件

１８．顕彰・表彰事業

（１）福祉事業功労等の表彰式の開催、社会福祉大会の事務及び参加等を行った。

ア．大口町表彰式

司　　会　音訳ボランティアたんぽぽ

情報支援　大口町手話サークルコスモス、要約筆記スマイル大口

開催日	場所	内容	来場者
11 月 23 日	健康文化センター ほほえみホール	社会福祉協議会の顕彰者 ・社会福祉協議会会長表彰　8 名 家庭介護５年以上　3 名	93 名

イ．愛知県社会福祉大会

開催日	場所	顕彰者	参加数
10 月 30 日	愛知県国際展示場	大口町社会福祉協議会推薦分 県社会福祉協議会会長表彰　1 人 県社会福祉協議会会長感謝　3 人 12 団体	約 8 千名 （会全体）

１９．福祉関連事業

（１）行政や関係機関より受任する役員・委員等として、各種会議・研修等に出席した。

ア．会議等

名称	出席件数
大口町障がい福祉調整会議	２件
大口町子ども・子育て会議	３件
大口町高齢者サービス調整会	２件
大口町地域包括ケアシステム推進協議会	３件
大口ケアセンターあかり運営推進会議	６件
特定非営利活動法人尾張北部権利擁護センター通常総会	１件

（２）点字投票制度への協力　０件

（３）社会福祉事業に関する福祉サービス苦情解決制度により、苦情解決を行った。

ア．第三者委員への苦情報告件数　１件

（４）各行政区からの申請に基づき赤い羽根共同募金２次配分金を交付し、地域福祉活動の支援を行った。

ア．行政区への募金配分

地区名	平成３０年度募金実績額	配分額
秋田区	202,000 円	20,000 円
豊田区	277,000 円	27,000 円
大屋敷区	188,400 円	18,000 円
外坪区	107,000 円	10,000 円
河北区	203,500 円	20,000 円
余野区	229,700 円	22,000 円
上小口区	191,050 円	19,000 円
中小口区	219,600 円	21,000 円
下小口区	577,000 円	57,000 円
垣田区	91,410 円	9,000 円
さつきケ丘区	121,500 円	12,000 円
合計	2,408,160 円	235,000 円

・配分額

前年度の赤い羽根共同募金実績額に１割を乗じ千円未満を切り捨てた額

令 和 元 年 度

事業報告書

大口町共同募金委員会

１０．共同募金（大口町共同募金委員会）

共同募金運動への理解・協力を高めるため、募金の意義についての周知を図り、財源の充実と事業の拡大を進めた。

（１）大口町共同募金委員会運営委員会を年３回開催し、共同募金事業計画を策定し共同募金運動の推進を図った。

ア．大口町共同募金委員会運営委員会

開催日	場所	内容
令和元年 ６月２１日	健康文化センター会議室	平成３０年度の実績・監査結果報告 令和元年度の募金目標額及び赤い羽根共同募金配分金事業について
令和元年 ９月９日	健康文化センター多目的室	第７１回赤い羽根協賛児童生徒作品コンクールの第一次審査、街頭募金活動について
令和２年 ３月２４日	健康文化センター多目的室	令和元年度赤い羽根共同募金及び災害義援金送金実績報告、児童生徒作品コンクール結果報告 大口町共同募金委員会運営委員の選任について

イ．赤い羽根共同募金：期間 10 月 1 日から 3 月 31 日

＊上段は令和元年度実績・下段は平成 30 年度実績

目標額	募金方法別実績額			増減額	達成率
3,500,000 円 3,500,000 円	戸別	11 区	2,331,920 円	▲76,240 円	97.6% 99.5%
		11 区	2,408,160 円		
	法人	6 社	68,000 円	0 円	
		6 社	68,000 円		
	街頭	5 回	87,598 円	▲8,548 円	
		5 回	96,146 円		
	職域	32 社	491,316 円	▲15,236 円	
		32 社	506,552 円		
	学校	4 校	65,907 円	▲3,450 円	
		4 校	69,357 円		
	テーマ	11 件	39,930 円	39,930 円	
		－	－	－	
	その他	2 件	332,054 円	▲5,286 円	
		4 件	337,340 円		
	合計		3,416,725 円	▲68,830 円	
			3,485,555 円		

ウ．赤い羽根共同募金のうちテーマ型募金：期間 3 月 31 日まで

地域のニーズに応じて、赤い羽根共同募金の期間を令和２年３月３１日まで延長し、ふれあいサロンの備品買替費用の助成をテーマに募金活動を実施。

エ．歳末たすけあい募金：期間 12 月 1 日から 12 月 31 日

＊上段は令和元年度実績・下段は平成 30 年度実績

目標額	募金方法別実績額			増減額	達成率
145,000 円 145,000 円	街頭	3 回	74,130 円	10,655 円	119.0% 94.7%
		3 回	63,475 円		
	職域	16 社	83,452 円	24,880 円	
		16 社	58,572 円		
	法人	0 社	0 円	0 円	
		0 社	0 円		
	その他	3 件	21,000 円	1,000 円	
		2 件	20,000 円		
	合計		178,582 円	36,535 円	
			142,047 円		

（２）赤い羽根共同募金配分金事業の推進と充実を図った。

（３）共同募金配分金事業を広くＰＲをし、協力事業所の拡大と、住民の認識を高めた。特に職域募金について、従業員間で直接募金を呼びかける職域募金活動の輪を広げる取り組みを支援した。

①「赤い羽根共同募金バトンリレー」

ア．募金実績

実施日	実施事業所	募金額	参加数
１１月１７日	株式会社東海理化	38,198 円	株式会社東海理化 社員 23 名 大口町共同募金委員会役職員 4 名

②共同募金と配分金事業の推進を目的とした啓発

地域の行事で配分金事業をＰＲするのぼり旗を掲示し、町内小中学校の児童生徒の作品コンクールを通じて、地域住民への啓発を行った。

ア．作品コンクール優秀作品の展示

実施期間	場所
9 月 25 日～10 月 8 日	健康文化センター１階 町民ギャラリー
10 月 10 日～10 月 24 日	アピタ大口店２階
11 月 2 日	ふれあいまつり ふくしわくわくランド共同募金ブース

・中学生のポスター１作品が、東海テレビ福祉文化事業団賞を受賞

（４）町内店舗、ふれあいまつり等において協力団体による街頭募金を実施した。

ア．街頭募金実績

実施日	募金種別	実施場所	募金額	協力・実施団体
１０月１日	赤い羽根共同募金	アピタ大口店、バロー大口店、ヨシヅヤ大口店	46,247 円	大口町民生委員児童委員協議会
１０月６日	赤い羽根共同募金	町民体育祭	21,161 円	ボーイスカウト大口第１団
１１月２日	赤い羽根共同募金	ふれあいまつり	20,190 円	大口絆つなぐネット大口町共同募金委員会
１２月２２日	歳末たすけあい募金	アピタ大口店、バロー大口店、ヨシヅヤ大口店	74,130 円	大口町更生保護女性会

（５）募金機能付自動販売機を設置し募金活動の普及に努めた。

ア．募金実績（※赤い羽根共同募金の「その他募金」実績額に含まれる）

設置場所	募金額
軽費老人ホーム大口一期一会荘１階	332,046 円
大口町健康文化センター1 階	

（６）災害復興義援金の窓口を設置し、募集・送金を行った。

ア．送金実績

義援金名称	送金額
京都府放火事件被害者義援金	4,865 円
令和元年８月佐賀県豪雨災害義援金	1,442 円
令和元年台風１５号・１９号 大雨千葉県災害義援金	99,184 円
令和元年台風第１９号災害義援金（茨城県）	18,094 円
令和元年台風第１９号災害義援金（栃木県）	18,094 円
令和元年台風第１９号災害義援金（岩手県）	18,094 円
令和元年台風第１９号災害義援金（宮城県）	18,094 円
令和元年台風第１９号災害義援金（静岡県）	18,094 円
令和元年台風第１９号災害義援金（長野県）	65,309 円
令和元年台風第１９号災害義援金（福島県）	18,094 円
令和元年台風第１９号災害義援金（群馬県）	18,094 円
令和元年台風第１９号災害義援金（埼玉県）	18,094 円
令和元年台風第１９号災害義援金（神奈川県）	18,094 円
熊本県地震災害義援金	2,435 円
平成 30 年北海道胆振東部地震災害義援金	2,435 円
平成 30 年 7 月豪雨岡山県災害義援金	1,510 円
平成 30 年 7 月広島県豪雨災害義援金	1,510 円
愛媛県豪雨災害義援金	1,510 円
合　　計	343,046 円